子どもの心を支える大人のための
ふくしま型レジリエンス リーフレット活用ガイド

福島県教育委員会
令和８年１１月発行

あなたの働きかけは、子どもの心の支えにつながっている





保護者や地域の方々



教職員





専門スタッフ

ふくしま型レジリエンス は、周囲の大人の関わりの中で育まれていきます

一緒に考えてみませんか？

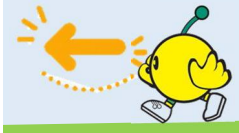
ふくしま型レジリエンスをこれからも育んでいくために、『何を大切にして働きかけるのか』というまなざしを共有して、それぞれの立場から「できることは何か」を考えていきましょう。

リーフレットの ふくしま型レジリエンスが育まれている子どもの姿とは? を見ながら、目の前にいる子どもの様々な場面での姿を思い出してみましょう。



あなたには、目の前にいる子どもたちのどんな姿が見えていますか？

あなたは、子どもたちとのどのような関わりを大切にしていますか？



周囲の大人達が力を合わせて、子どもの心を支えていくヒントを探してみましょう。

よりよい働きかけを考える



リーフレットの **周りの大人は、どのように働きかけ、支え育てていけばよいのかな？**
を見ながら、「あの子どもとの関わりだったら…」のように想定して考えてみましょう。

子どもへの関わりに取り入れてみたいことはありますか？

子どもの失敗を責めるのではなく、挑戦したことを認め、寄り添いながら、
「失敗の経験から何が学べるのか」を大人も一緒に考えることが大切です。



子どもの心の支えになるために
リーフレットを活用して話し合う

今ある教育活動や行事等に「少しだけ加える」から始めてみましょう

年度はじめ 学期はじめ
あわせる
- 子どもの実態を把握する。
- 支援の方向性を共有する。

校内研修
語り合う
- 子どもの心を支える方法等の学びを深める。
- 支援の質を高める。

ケース会議
伝え合う
- 多職種で情報を基に話し合い、子どもへの思いを共有する。

保護者会 地域の集まり
かさねる
- それぞれが見つけている子どもの「よさ」を伝え合う。
- 子どもへの思いを共有する。

学期末 年度末　等
振り返る
- 日々の指導を振り返り、自分「ならでは」の指導方法を見つめ直す。

働きかけを共に考える

様々な立場の方々と共に考えてみましょう ～おすすめの話題～

- □ あなたに見えている子どもの姿を語り合おう
- □ 「失敗から学ぶ」教育活動を見直そう
- □ 「助けて」という言えるよさを考えよう
- □ 家庭だからこそできる「レジリエンス」を考えよう
- □ 子どもの心を受け止める大人の関わりを考えよう
- □ 地域で育てていきたい子どもの姿を考えよう
- □ 子どもの行動と「心のエネルギー」を考えよう
- □ 「自分を認め、励ます」を体験しよう　　等



私たち大人だって、ふくしま型レジリエンスを育てていくことが大切です。
「今までの関わりでよかったかな」と不安な時、リーフレットを読み返すと、目の前の子どもへの、そして自分自身へのエールにもなります。

“５分”でもできるワーク(案)

リーフレット「私たちにできること～５つの提言～」より

「肯定する」働きかけをブラッシュアップ！

1 ほりおこす　【１分】
個人　最近の子どもの「がんばり」を書き出す。

2 さがす　【１分】
集団　リーフレットの「ふくしま型レジリエンスが育まれている子どもの姿」のどこに当てはまるか話し合う。

3 かんがえる　【２分】
集団　明日、それぞれの子どもに肯定する「どんな言葉をかけるか」を考える。

4 きめる　【１分】
個人　自分がかける言葉を選び、決める。